

辺野古古代執行許さない

官邸前 宗教者ら抗議



沖縄県名護市の辺野古新基地建設の地盤改良工事着手に対し、「『代執行』を許すな」などと声を上げた参加者=12日、官邸前

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設で政府が大浦湾側の地盤改良工事に着手する中、「代執行」を許すな」埋め立てに反対する宗教者や市民らが12日、

「辺野古の海を土砂で埋めるな！首都圏連絡会」です。総がかり行動実行委員会共同代表の高田健さんは、国が軟弱地盤の改良に伴う設計変更を承認した「代執行」に基づき、埋め立てが進行されていることにふれ「地方自治の本旨から外れている。憲法違反だ。このような暴挙を認めてはならない」と批判しました。沖縄県庁前でハンカーストライキをしていくランティア「ガマフヤさん」代表の具志堅隆松さんが現地から電話で

訴え。「戦争で犠牲になった人たちの遺骨が混ざった土砂を投入させてはならない。一緒にその声を上げてほしいと呼びかけました。日本キリスト教協議会総幹事の金性済（キム・ソンシユ）さんが、「具志堅さんとも基地建設に反対しよう」と訴え、日本山

遺骨眠る土砂使うな

あかみね氏 ハンスト現場訪問

沖縄県庁前

日本共産党の、あかみね政賢衆院議員は11日、沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤさん」代表の具志堅隆松さんがハンカーストライキを続けている沖縄県庁前を訪れ、連帯し

ハンカーストライキの現場を訪ねる人目から左へ具志堅さんや奥田さん、あかみね氏（左側）11日、沖縄県庁前



たらない沖縄本島南部の土砂を埋め立てに用いることに対し、「犠牲者を冒瀆（ぼうとく）するもので許されない」と訴え、土砂採取の断念を求めています。沖縄戦で犠牲になった両親の遺骨を見つけたようにDNA鑑定を申請した奥田千代さん（82）は官野湾市が、厚生労働省から届いた

鑑定結果の通知を具志堅さんに見せるために訪れていました。収集された中から血縁関係がある遺骨は特定できなかったが、具志堅さんは「同じ政府でも厚生省は遺族に遺骨を返すためDNA鑑定を勧めるのに、一方の防衛省は土砂を採取し、遺骨収集する場所をなくそうとしている」と批判しました。奥田さんは「本当にそう。悲しさを通り越して涙も出ない。怒り心頭です」と語気を強めました。母親が犠牲になった場所は土砂採取が予定される鉾山の所在地、糸満市米須だと伝え、あかみね氏は国会で取り上げたいと話しました。